



インスピレーションになるう

Rotary



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

なんと

NO. 2414

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)



例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 澤田喜朗会員



富山水墨美術館の池にゴンサギ一羽

ゴルフ界の将来を見据え、さらなる拡大を目指し、260余年の歴史があり、厳格で頑なまでに理念を貫いてきた、格式の高いR&Aが、今回の大幅なルール改正に舵を切ってきたのであります。伝統や古い価値観ばかりに目を向けるのではなく、時代の流れを直視し、今後もドラスティックな改革を積極的に進めていかないとゴルフの未来に明るさは見えてこないだろう、という厳しい意見も寄せられております。

◆RLI研修認定書伝達

受講者川合声一会員に認定書授与

◆幹事報告 久恵龍三幹事

- ①地区大会実行委員会より、「駐車場・会場移動の案内」受領
- ②新湊中央RCより例会変更の案内



第2474回例会 平成30年9月18日(火) 晴れ

- ◆点 鐘 12:30 岩木貴之会長
- ◆司 会 森 悦夫SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」

◆会長の時間 岩木貴之会長

2019年(来年)1月1日より、ゴルフのルールが大幅に変更されます。このゴルフのルールは、R&A(The Royal and Ancient Golf Club of St・Andrewsの略)が4年に1度(オリンピックの年に変更・施行)ルールの見直しを行い、全世界の傘下の約140ヶ国へ通達しているものであります。

このR&Aはイギリスのスコットランドにあります有名なゴルフ場、セントアンドリュース・ゴルフクラブのクラブハウス内に置かれており、設立は1754年で大変歴史のある、ゴルフの総本山と呼ばれている組織であります。

今回のルール変更の特徴として、このR&Aは、2017年3月に“提案”という形で発表し、半年間インターネットを通じて世界中のゴルファーからフィードバックを受け、2018年半ばに最終決定し、1年前倒して施行するという、まさに異例の措置を取りました。

このルール変更には、ゴルフの“ボールはあるがままに打つ”という理念を根底から覆すものもいくつか盛り込まれております。そして変更の理由としてR&Aは、①難解で理解しがたいルールを分かり易くするとか、②プレーの進行を遅らせないようにするとか、主な理由として挙げております。が、これは建前論であって、現実的な、その本音が囁かれております。

①ゴルフ人口の減少が挙げられております。これは世界的な傾向で、ゴルフ発展途上国の中国やインドでは、ゴルフ場、ゴルフ人口とも増加傾向にありますが、ゴルフ4大大国のアメリカ、イギリス、カナダ、日本では共に減少傾向にあり、世界の統計では、2005年には、1000人に1人(人口比0.1%)であったのが、2017年には1300人に1人(人口比0.08%)と落ち込んでおります。特に日本では、1993年ゴルフ人口が1480万人であったのが、2016年には720万人(底を打った感)、2017年には若干盛り返して750万人となっております。(バブル経済崩壊後、約半数となっております。)

②にゴルフ人口の高齢化があげられております。60歳以上の高齢者が多少増加傾向にありますが、20歳30歳代といった若い世代の人達が減少しております。日本ではこのまま行きますと、2030年には400万人まで落ち込む、とも言われております。この二つのポイントが今回のルール改正の本音の部分であり、早く手を打った方がよいということで、1年前倒して、かつ、初心者でも若年層でも、気軽にできる、敷居の低いスポーツを目指すという方向性を打ち出してきた、と言えると思います。

★ニッコニコボックス 9/18 榎 祐人委員長

- 岩木君 秋らしい、過ごしやすい日です。
- 渡邊君 『清く高く美事に希望の大世界を進み抜く』棟方志功詞 棟方サミットin南砺が始まります。
- 荒井君 井沢さん、卓話楽しみにしております。
- 井沢君 榎さんと目があいました。今日は、卓話当番です。よろしくお願ひします。
- 久恵君 最近、体幹の衰えが目立ちます。芯でボールがとらえられませんか。大西道場で鍛えようかな？
- 大西君 いよいよ実りの秋!! これから毎週山へ行くのが楽しみになってきました。すいません。今日は早退させていただきます。
- 中田裕君 暑い夏が終わりましたが、プールに引き続き行っています。ちょっと進歩があり、25mは泳げるようになりました。
- 松本敏君 すずきが穂を出しました。コスモスが咲き、ちいさな秋見つけました。
- 山田喜君 秋は忙しいです。秋まつ盛り。遊ばなきゃならないし、仕事も忙しい!! これが生きているということだね。楽しい楽しいということしておきましょう!!
- 片山浩君 我が家の栗の木に多くの実が落ちてきそうです。
- 川合君 雨が続きます。稲刈りも遅れぎみです。豊作を期待しています。
- 榎 君 長い間、太陽の顔を拝んでいなかった様な気がします。稲刈りが滞って大変です。実り多い秋になって欲しいのですが…。
- 森 雄君 3連休に、住宅の完成見学会を行いました。たくさんの方にお越しいただき、喜んでいただきました。
- 谷 村君 昨日、小松基地航空祭を見学して来ました。十数機の戦闘機がが次々離陸するのを眺めながら、防衛と平和について考えました。
- 岡部君 むぎや祭り、福光宇佐八幡宮のお祭りも終わりいよいよ秋に入ってきました。今日は早退致します。
- 木村君 女房はんはまだ帰ってません。店番の人の昼休みの為、早退します。
- 船藤君 井沢さん、卓話楽しみです。
- 尾山君 井沢さん、卓話よろしくお願ひします。
- 杉本君 すみません、早退します。

本日のプログラム 9月25日(火) 第2475回 卓話

担当 石崎博之会員

◆出席報告 吉田 実委員長

会員数	9月18日出席率	9月4日の修正
47	76.60% (欠11)	70.21% (欠14マーク0)

次回の予定 10月2日(火) 第2476回 卓話

担当 宮川 功会員



今日の卓話のために何を話そうかとズーッと考えてきましたがまとまらないまま本日を向かえてしまいました。したがって今日は徒然なるまゝに話をさせていただきます。

私が南砺ロータリークラブ(当時は砺波南ロータリークラブ)に加入したのは平成4年6月でした。以来いつの間にか26年も経過してしました。

例会出席初日、どんなところに入会したのか異常な緊張の中で受けをしていると周りにいた人たちから声をかけられました。振り返ると名村正雄さん、澤田喜一郎さん、川合昭至さん、渡邊勉次郎さん等仕事上やゴルフなどで顔見知りの社長さんたちであったので少し緊張がほぐれホッとしたことを記憶しています。

例会の冒頭の「会長の時間です」と言うSAAの紹介の言葉には何か威厳を感じました。

私が、1ヶ月も経たないときに小矢部中クラブをメーキャップに訪問したときのことでした。会場では知り合いの顔は皆無で緊張の極みでした。しかもその日はガバナーの公式訪問の日でした。ガバナーの意味も分からずただロータリークラブでは偉い人なんだろう程度に思いながらガバナーの卓話を聴いていました。その時の卓話の中で『ロータリークラブは人材の森です。人材浴を楽しむ場所です』のガバナーの言葉が今でも私の頭の中に残っています。



米沢幸明ガバナー  
(黒部RC:紙製品製造)

入会以来何回かの卓話当番を済ませてきました。最初は自己紹介に始まり仕事の事や生意気にも職業奉仕について卓話をしたこともありました。それから、めったに本を読んだことのない私がたまたま本の表題に興味をひかれ買った本「あなた私も闘います」「のれんに命をかけた闘いの記録」森八女将”中宮紀伊子”森八とは、言わずと知れた金沢の和菓子の老舗・森八です。その森八が倒産した時の女将が書いた本の紹介と感想を卓話で取り上げたこともありました。

うちのクラブでは、川合昭至さん、森啓一さんの卓話が好きでした。

私は現在プライベートのことで二つの事で悩んでおります。一つは、私には大正14年生まれの子供が筆頭に七人の兄弟姉妹がおり私は六番目で三男坊です。しかも私を含めた七人全員が生存しております。(それに配偶者が4人います)いずれも90才代から80才代ですから余命はあと僅か、今年か来年にかけてバタバタと逝くなると事態がおきるのでないか、と心配しています。兄弟姉妹は、遠くは茨城県・千葉県・東京や富山、高岡等に在住しており、いざという時に私が本家としての役割を果せるか、なんて他人から見ればどうでも良いようなことを真剣に悩んでいます。それから私自身も最近の急激な体力の衰えを感じます。平均寿命も生きたことだし後はおつりの人生だと思っています。二人の子供、六人の孫、四人のひ孫たちや周りに迷惑を掛けずにどう人生を終わらせるか、いまから準備いわゆる「終活」に取り掛からねばと思う昨今です。

私は現在地区の老人クラブの会長をしております。会長を受ける時は単純に一期(2年)延長しても二期(4年)で交替できるものと思いきや安易な気持ちで引き受けました。ところ



井沢ファミリー

が今年7年目になりますが何人か適任者と思われるか方にお願いしていますが頑なに断られ未だに会長を続けています。これが頭の痛い悩みの二つ目です。

私は若い頃結構無鉄砲なことをして親不孝をしていました。22才の時に高校時代の友人を頼って東京に家出をしました。お金を持っているわけでは無いのだから、早速住み込みの出来る就職先を見つけなければならず奔走しました。見つかったのが注文足袋を扱う銀座に店舗を構える「めうがや」という会社の大田区東矢口にある縫製作業所の住み込みでした。そしてそこで知り合ったのが妻でした。妻の実家はJR蒲田駅西口で小さな焼き鳥の店を出して、そこに通う常連客の中に一部上場企業の重役さんがおり、そのコネでその重役さんの会社に就職することが出来ました。

一方私の父は戦後まもなく北陸銀行を定年になり、丁度同時期に設立された福光信用金庫の初代頭取の波多栄吉さんに懇願され若い行員の指導や出資金募集等を手伝い3~4年嘱託として勤め昭和24年に損害保険代理店を開業したと聞いています。そして昭和42年(29才の時)に三男である私が高齢の父の後継ぎとして帰郷しました。

始めは、保険の知識もなく、しつこい勧誘という暗いイメージしかなく仕事にもあまり熱心ではありませんでした。

ところが、昭和40年頃より始まっていたモータリゼーションの波にのり自動車保険の需要が高まり徐々に業績が拡大して行きました。

その過程で、困ったときは「お客さまの目線で」「お客さまに寄り添って」と言うことが分かってきました。まさに今の私はお客さまに育てられて今日があると言っても過言ではありません。

「♪♪・・・満開の桜や色づく山の紅葉をこの先何度見ることになるだろう・・・♪♪」



(会報担当・税光信作)